

認知特性 4 タイプ早わかりガイド

あなたの「学び方」を知ること、勉強が変わる。

ARCHÉ | 合同会社 Verbinden

認知特性とは？

認知特性とは、情報をどのように受け取り、処理し、記憶するかという「脳の情報処理の傾向」のことです。人によって「見て理解するのが得意な人」「言葉で説明されるとわかる人」「体を動かして覚える人」など、学び方には大きな個人差があります。

この傾向を知ること、自分に合った勉強法を選べるようになり、同じ時間でもより深く・速く理解できるようになります。

4つの認知特性タイプ

最も当てはまるタイプが「メインタイプ」、2番目が「サブタイプ」です。多くの人は複数の特性を持ちます。

視覚優位型 — 映像・図・色で理解する

目で見た情報を脳内でイメージとして処理するのが得意。図や絵、色分け、空間的な配置によって情報を整理します。

効果的な勉強法

- 図・グラフ・マインドマップを多用する
- 色分けしたノートで情報を整理する
- 問題を解くとき、図や表を自分で描いてみる
- イメージを頭の中で「映像化」して暗記する

聴覚優位型 — 音・リズム・声で理解する

音や言葉のリズム、声の抑揚から情報を処理するのが得意。音読や音楽との組み合わせが学習効率を上げます。

効果的な勉強法

- 声に出しながら読む・解く
- 語呂合わせや歌で暗記する
- 自分の言葉で説明してみる（アウトプット）
- 授業の説明をよく聞いてからテキストを読む

言語優位型 — 論理・言葉・構造で理解する

言語や論理の構造を通じて情報を整理するのが得意。定義・概念の正確な理解と、ステップごとの論理展開が学習の鍵です。

効果的な勉強法

- 定義や公式を正確に言葉で理解してから問題を解く
- なぜそうなるかの理由・根拠を重視する
- ステップを整理してノートに論理的にまとめる
- 文章問題・記述問題が得意になりやすい

身体感覚優位型 — 体験・直感・手を動かして理解する

実際に手を動かしたり、体験を通じて情報を定着させるのが得意。問題を解くプロセス自体が

学びになります。

効果的な勉強法

- とにかく問題を解きながら覚える
- 手を動かしてノートに書きながら学ぶ
- 実験・実践・ロールプレイを取り入れる
- 体で覚える感覚を大切に（書いて・動いて）

思考傾向タイプ（2種類）

認知特性に加えて、「問題にどうアプローチするか」という思考の傾向も学習効率に影響します。

逆算型（Architect）

ゴールを先に決めて、そこから逆算して学ぶタイプ。試験範囲を把握してから勉強を始めると効率的。

目標設定 → 計画 → 実行の順が得意

探索型（Explorer）

目の前の問題を解きながら前に進むタイプ。興味を持ったところから深掘りすると学習が加速する。

気になる → 調べる → 広げるの順が得意

ARCHÉでの活用方法

ARCHÉでは、認知特性診断の結果を自動でアカウントに連携。

科目・単元・難易度を選ぶだけで、あなたのタイプに最適化された教材を約1分で生成します。

無料で始める3ステップ

- ① cogni.verbinden-hp.com で認知特性診断（約5分・無料）
- ② 「ARCHÉで教材を作る」ボタンで自動連携
- ③ web.verbinden-hp.com で教材生成スタート（7日間無料）